



2009・春 Vol.6

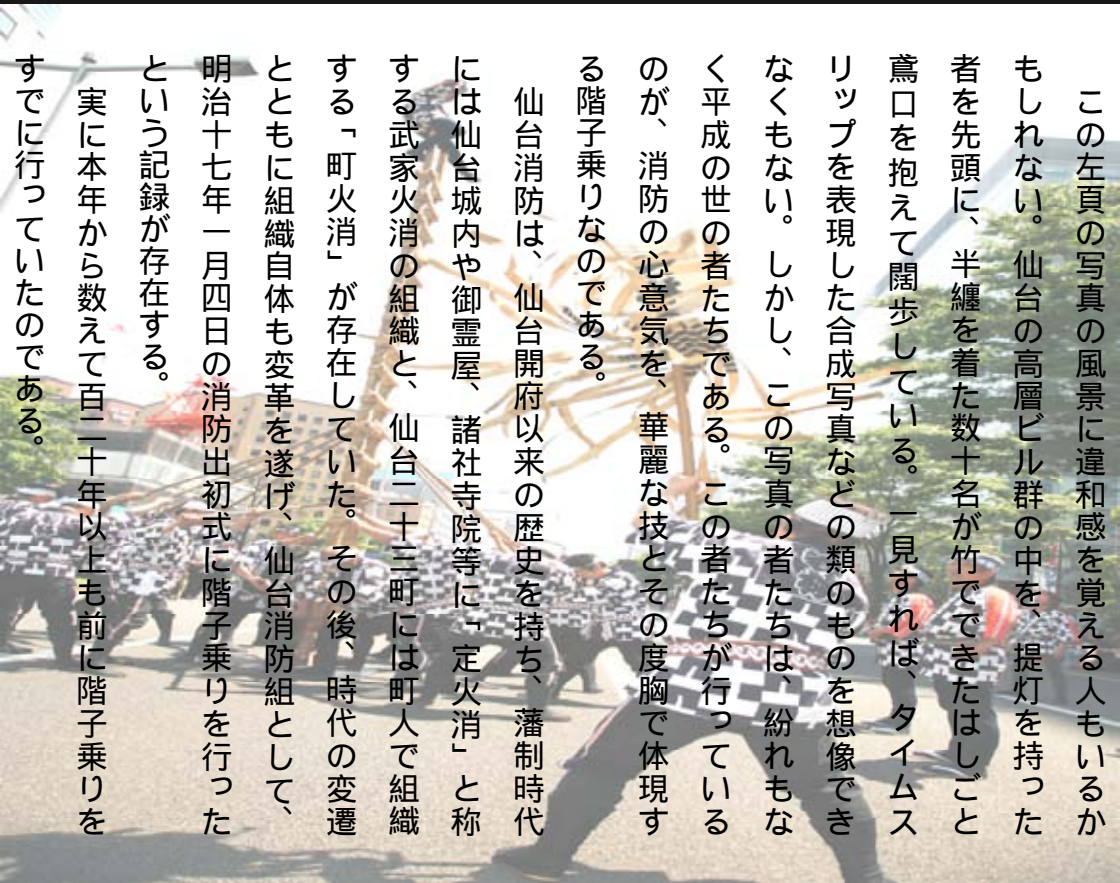
はしご

仙台消防階子乗り広報紙



第24回仙台・青葉まつり 定禅寺通  
太白消防団階子乗り隊



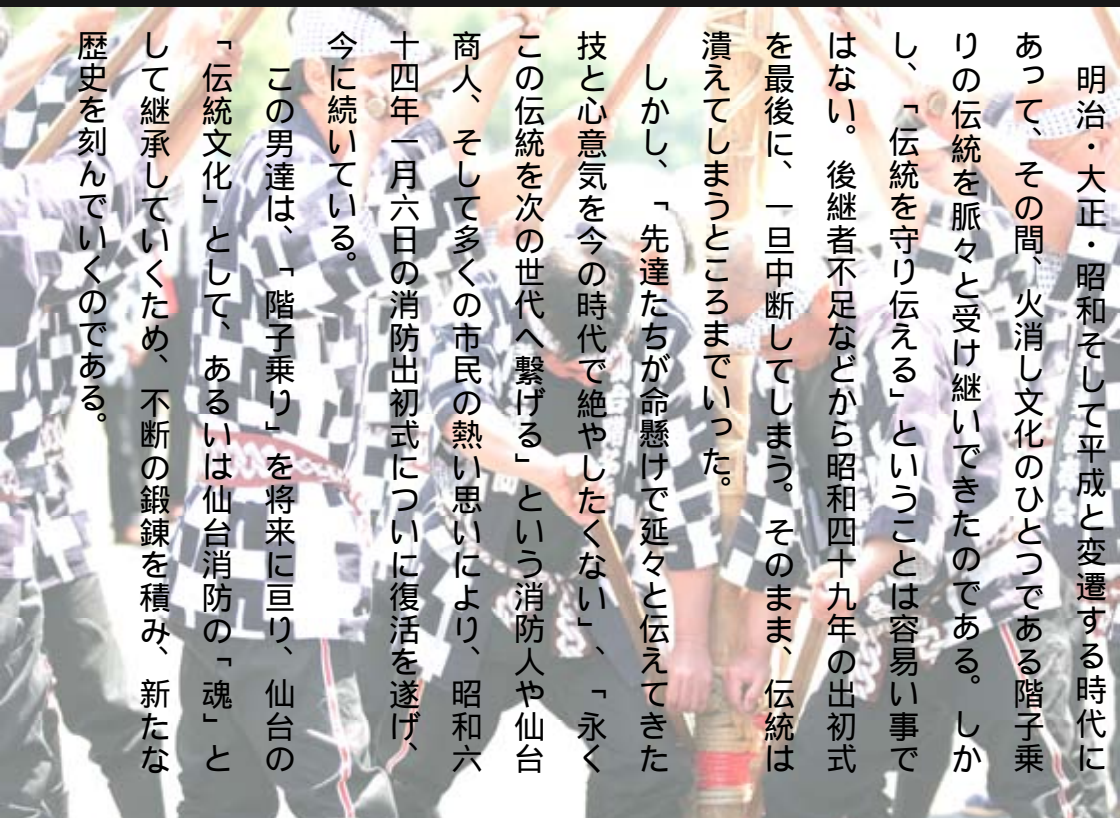


この左頁の写真の風景に違和感を覚える人もいるかもしれない。仙台の高層ビル群の中を、提灯を持った者を先頭に、半纏を着た数十名が竹でできたはしごと鳶口を抱えて闊歩している。「見すれば、タイムスリップを表現した合成写真などの類のものを想像できなくもない。しかし、この写真の者たちは、紛れもなく平成の世の者たちである。この者たちが行っているのが、消防の心意気を、華麗な技とその度胸で体現する階子乗りなのである。

仙台消防は、仙台開府以来の歴史を持ち、藩制時代には仙台城内や御霊屋、諸社寺院等に「定火消」と称する武家火消の組織と、仙台二十三町には町人で組織する「町火消」が存在していた。その後、時代の変遷とともに組織自体も変革を遂げ、仙台消防組として、明治十七年一月四日の消防出初式に階子乗りを行ったという記録が存在する。

実に本年から数えて百二十年以上も前に階子乗りをすでに行っていたのである。

## 歴史の継承者



明治・大正・昭和そして平成と変遷する時代にあって、その間、火消し文化のひとつである階子乗りの伝統を脈々と受け継いできたのである。しかし、「伝統を守り伝える」ということは容易い事ではない。後継者不足などから昭和四十九年の出初式を最後に、一旦中断してしまっ。そのまま、伝統は潰れてしまつところまでいった。

しかし、「先達たちが命懸けで延々と伝えてきた技と心意気を今の時代で絶やしたくない」、「永くこの伝統を次の世代へ繋げる」という消防人や仙台商人、そして多くの市民の熱い思いにより、昭和六十四年一月六日の消防出初式に復活を遂げ、今に続いている。

この男達は、「階子乗り」を将来に亘り、仙台の「伝統文化」として、あるいは仙台消防の「魂」として継承していくため、不断の鍛錬を積み、新たな歴史を刻んでいくのである。





# 仙台・青葉まつり

# 階子乗り歳時記

平成二十年度  
はしこ

5月18日(日)に開催された第24回「仙台・青葉まつり」の本まつりは、雲ひとつない晴天に恵まれ、ビルの谷間を流れる心地好い風が吹く中、仙台市内7消防団の階子乗り隊が華麗な演技を披露しました。大勢の皆様にお越しいただいた勾当台公園市民広場の特設会場、ケヤキの新緑がまぶしく輝くさわやかな定禅寺通り、そして高層ビルが立ち並ぶ東二番丁通での階子乗りの演技は、迫力充分で、観客の皆様から大きな歓声と拍手をいただきました。



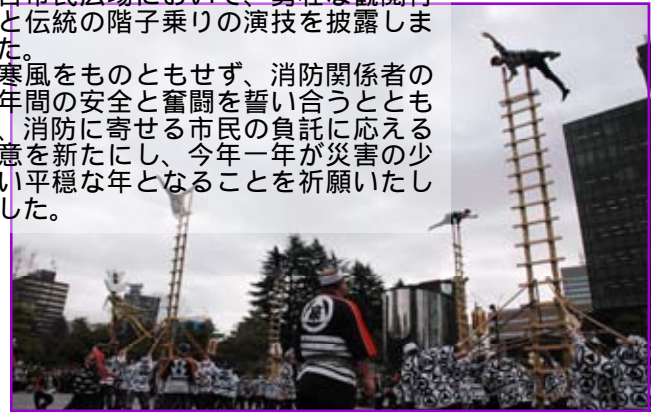
# 平成21年仙台市消防出初式



1月6日(火)に行われた「平成21年仙台市消防出初式」に、仙台市内7消防団の階子乗り隊が一同に出場しました。当日は真冬らしい、肌を刺すような天候の中で、仙台市役所前・勾当台市民広場において、勇壮な観閲行進と伝統の階子乗りの演技を披露しました。寒風をものともせず、消防関係者の1年間の安全と奮闘を誓い合うとともに、消防に寄せる市民の負託に応える決意を新たに、今年一年が災害の少ない平穏な年となることを祈願いたしました。



保存会 三原副会長の三本締め



# 仙台七夕まつり



仙台の夏、そして、東北の夏を代表する「仙台七夕まつり」が8月6日(水)～8日(金)に開催され、杜の都の象徴でもある定禅寺通にて夕刻に開催された「星の宵まつり」に、仙台市内7消防団の階子乗り隊が3日間に分かれて出場し、勇壮な演技を披露しました。「星の宵まつり」を見物するために、大勢の観客の皆様が幾重にも列をなし、定禅寺通は、非常に熱気に溢れ、乗り手の華麗な技が決まる度に大きな歓声と拍手が沸き起こりました。







宮城野消防団  
「纏(まとい)」



福来組頭



乗り手頭  
加藤久さん



支え手頭  
早坂直樹さん



「みやぎの・まつり」での  
演技風景

宮城野消防団の階子乗り隊は、組頭以下38名で組織されています。隊の象徴である纏と隊員が着用する半纏は、みやぎのはぎの葉をモチーフにしており、3枚の葉は融和・協力・郷土愛の精神を表しています。そのデザインに込められた精神を組頭以下全員が大切に、階子乗りの伝統の継承と技の精進に全力を傾けて活動しています。宮城野消防団階子乗り隊のためにご尽力された佐藤勝雄団長が、本年2月逝去されたことに伴い、3月1日からは、組頭は小野寺政一副団長から小頭であった福来隆

副団長へ、小頭は加藤傳悦分団長へとそれぞれバトンタッチし、新体制でスタートしました。小野寺副団長は長い間、組頭として階子乗り隊を統括し、安全主任者として出場等における安全管理の責務を担ってきましたが、これからは、側面から支援することになります。乗り手は、加藤久乗り手頭をはじめ遠藤昌隆、佐藤史保、八島傑、遠藤幸治、我妻蔵人の6名の隊員で構成されています。特に、加藤乗り手頭は、これまで乗り手一筋で、平成3年から技術の練磨

を怠ることなく訓練を重ね、また、若手の乗り手に対しても技を惜しみなく伝授し、宮城野消防団階子乗り隊発展のために尽力してきました。支え手は、早坂支え手頭をはじめ、30名の隊員で構成されています。隊員間の団結力は非常に強く、乗り手が安心して演技ができることを第一に心がけて、鳶口に力を込めています。訓練は、雨等が降らなければ、暑さ寒さに関係なく屋外の訓練場(宮城野消防署)で週2回行っています。冬場



# 隊

はしご  
各消防団の階子乗り隊を  
紹介します。(シリーズ)



「鯨(しゃち)」を披露する我妻さん

今回は、宮城野消防団階子乗り隊を紹介します。

は寒いので展張したビニールテントの中で、石油ストーブで暖をとりながら、懸命に訓練に励んでいます。伝統の演技は、仙台・青葉まつり、仙台七夕まつりなど他の6つの階子乗り隊と一緒に、仙台を代表するイベントなどで披露しています。

また、宮城野隊単独の出場として、10月に榴岡公園で行われる「みやぎの・まつり」があります。ここでは、多くの方に階子乗り隊の演技を見ていただけるよう2回に分けて演技披露を行い、「宮城野消防団階子乗り隊ここにあり」とばかりに勇姿を披露しています。

今後も福来組頭を中心に38名の宮城野消防団階子乗り隊員が一致団結し、市民の皆様へ仙台の伝統と技を披露できるよう精進して参りますので、ぜひ本紙をご覧ください。ただければ幸いです。



唐傘を披露する我妻さん  
二人技「谷覗き(たにのぞき)」を披露する八島さん(上)と遠藤さん(下)



仙台市消防出初式で梅原市長と三原副会長を囲む宮城野消防団階子乗り隊

## お知らせ 平成20年度仙台市消防団階子乗り隊研修を開催しました。

平成21年2月21日に仙台市消防局庁舎において、(社)江戸消防記念会第四区二番組副組頭・高柳博一氏を講師に迎え、「江戸町火消 今昔(いまむかし)」と題してご講演をいただきました。江戸消防記念会は、江戸時代以来、永い歴史と伝統により受け継がれてきた纏・半纏・火消用具等の保存、木遣り(きやり)・梯子乗りの技術伝承など、江戸の文化を語る上で欠くことのない火消文化を後世に伝えるために活動されています。今回の研修では、江戸火消の歴史や現在の梯子乗りの活動体制、特に木遣りについては、実演を交え熱心にご講演いただき、聴講した乗り手などから質問も寄せられるなど充実した研修となりました。

仙台消防階子乗り保存会としては、今後も階子乗り隊の研修を後援し、階子乗りの伝統継承及び隊員の安全管理を図って参りたいと考えております。



熱心に聴講する階子乗り隊員



図を用いて講演する講師



高柳講師



一目で所属・役職が分かる半纏。四区が白線4本、二番組が背中文字。赤筋で役職の副組頭を示している。



隊員たちも非常に興味を持った半纏の粋な着方を伝える講師



非常に貴重な資料「江戸消防」創立50周年記念誌を講師から頂戴いたしました。



# 消防団員募集中

仙台消防階子乗り保存会では、明治17年以前の仙台の階子乗りに関する資料や情報を探しています。資料等をお持ちの方は、お手数ですが事務局までご連絡をお願いします。

### 編集後記

平成20年度も、天候に恵まれた中、隊員に怪我人も出ず、無事出場を終えることができました。また、大勢の皆様へ演技会場まで越えただき、すばらしい一年だったと思っています。平成21年度も引き続き、階子乗り隊をよろしく願います。

## 仙台消防階子乗り保存会

私たちは階子乗りの歴史と伝統を保存するため、階子乗り隊の活動を支援しています。 会長 藤崎三郎助

ご入会を希望される方は下記事務局までご連絡下さい。

年会費 法人会員 1口 10,000円  
個人会員 1口 5,000円

仙台市青葉区堤通雨宮町2番15号  
仙台市消防局総務部総務課内  
TEL(022)234-1111  
FAX(022)234-1120  
E-mail syo018010@city.sendai.jp

### 「大切な人、大切なまちを守りたい。」

仙台市では、地域のために活動する消防団員を募集しています。入団希望やお問い合わせは、消防局又は最寄りの消防署までお願いします。

消防局	234-1111	青葉区堤通雨宮町2-15
青葉署	234-1121	青葉区堤通雨宮町2-15
宮城野署	284-9211	宮城野区苦竹3-6-1
若林署	282-0119	若林区遠見塚2-25-20
太白署	244-1119	太白区山田北前町15-1
泉署	373-0119	泉区将監4-4-1
宮城署	392-8119	青葉区落合2-15-1



仙台七夕まつり「星の宵まつり」  
 写真：渋谷匡



わたしたちは、仙台消防階子乗りを応援しています。

仙台消防階子乗り保存会会員

(株)藤崎	消火栓標識(株)仙台支社	宮城野消防団親和会	東北厚生年金病院	(株)パルコ仙台
仙台ターミナルビル(株)	みやぎ仙台商工会	若林消防団親和会	興立産業(株)	(株)エアートクノス
NECトーキン(株)	(株)真山リアルエステート	太白消防団親和会	泉中央駅前地区活性化協議会	
(株)河北新報社	かまぼこの鐘崎	泉消防団親和会	南光台商店街振興組合	安海 映一
ニッカウエスキ(株)仙台工場	東北福山通運(株)仙台支店	宮城消防団親和会	(株)東京インテリア家具仙台泉店	小山 嶺
仙台商工会議所	北日本電線(株)	秋保消防団親和会	(株)三原本店	石井 一志
(株)日本損害保険協会東北支部	(株)三越仙台店	サモール一番町商店街振興組合	御譜代町柳町会	柴田 林
宮城県百貨店協会	仙台市消防機器事業協同組合	(株)ベルモードスズキ	(株)ホテル仙台プラザ	北川 信一
仙台ビルディング協会	新日本石油精製(株)	(株)大内屋	(株)阿部蒲鉾店	郷湖 忠
仙台農業協同組合	協同組合仙台卸商センター	(株)ナカガワ	(株)仙台かき徳	高橋 幸助
東北電力(株)	みやぎ生活協同組合	イオン(株)仙台フォーラス	(株)白松がモナカ本舗	三浦 文江
(株)七十七銀行	(株)江陽グランドホテル	(株)よろづ園茶舗	(株)タゼン	
カメイ(株)	原町消和会	牛なべ入間	(株)DNP東北	
仙台防火委員会	太白消防団OB会	おおまち商店街振興組合	JFE条鋼(株)仙台製造所	
(株)仙台市防災安全協会	泉消防友の会	ホテルモントレ仙台	全農I礼ギ(株)仙台石油基地	
(株)宮城県銀行協会	宮城消防団OB会	東北スチール(株)	(株)メガネの相沢	
(株)ユアテック	青葉消防団親和会	東洋製缶(株)仙台工場	O-ch-a-n-o-ma恵	

会員の皆様のご紹介につきまして  
 は、屋号又は商号  
 による紹介も対応  
 しております。詳  
 しくは事務局まで  
 ご連絡をお願いし  
 ます。